

平成 30 年度第 8 回島根大学医学部医の倫理委員会【議事要旨】

日 時 平成 30 年 11 月 26 日（月）15 時 00 分から 16 時 00 分

場 所 医学部本部棟 5 階 第一会議室

出席委員 原田 守（委員長）、廣瀬昌博（副委員長）、土屋美加子、森田栄伸、
長井 篤、村川洋子、津本優子、中村守彦、鈴木律朗、橋本由里、吉田純子、
祖田浩志、熱田雅夫

欠席委員 竹下治男、板倉啓治、

事務局 横山哲也、向山孝行、椿 麻由美、勝部由貴子、日下みゆき、米山和敏

陪 席 大野 智、富井裕子、

【成立要件の確認（医学部医の倫理委員会規則第 5 条）】

出席者数／全委員数 13 名／15 名

出席者内訳 自然科学の有識者 8 名、人文・社会科学の有識者 3 名、一般の立場の者 2 名、
本学部に所属しない者 4 名、男性 8 名、女性 5 名

議題 1 申請案件の審査（通常審査）

1. 申請者出席による審査（4 件）

| | | | | | |
|------|--|----|-------|------|---|
| 管理番号 | 20181017-1 | 種別 | 医学系研究 | 資料番号 | 1 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | | | |
| 課題名 | 医師の診断エラーに対する認知バイアスの研究 | | | | |
| 申請者 | 和足 孝之（卒後臨床研修センター 助教） | | | | |
| 審査内容 | 説明文書に、「個人情報と特定できないようにしているためアンケート提出後は変更・削除ができない」ことを文言を修正して記載すべきとの指摘があった。Web アンケート代行企業が個人情報とアンケート入力情報をリンクして二次利用できるのではないかととの質問があり、当該企業は個人情報を特定できる可能性はあるとの回答だったため「Web アンケート代行企業が個人情報とアンケート入力情報をリンクして解析などを行わない」旨を研究計画書、説明文書に追記するよう指示があった。研究分担者が、計画書の 12.研究組織では研究協力者となっていて整合性がないので統一するようとの指摘があった。研究計画書の 8.2.研究期間が審査後保留となったままの期間が記載されているので研究承認後の期間に変更すべきとの指摘があった。 | | | | |
| 審査結果 | 全会一致で次の結果となった。 保留とする。 | | | | |

| | |
|--|---|
| | <p>本研究の研究計画書等について、以下のとおり対応すること。</p> <p>①研究計画書の 7.3.情報の管理及び説明文書において、Web アンケート代行企業が保有する個人情報とアンケート入力情報をリンクさせて使用しないことも記載すること。</p> <p>②審査結果が保留となったため、研究計画書の 8.2.研究期間について、記載内容を再度検討すること。</p> <p>③研究計画書の「13.1.2 研究協力者」を「12.1.2 研究分担者」に修正すること。</p> <p>④説明文書の「今回の回答は個人情報を特定できないようにするために」を「今回の回答は個人情報を特定できないようにしているために」に修正すること。</p> |
|--|---|

| | | | | | |
|------|---|----|-------|------|---|
| 管理番号 | 20181018-2 | 種別 | 医学系研究 | 資料番号 | 2 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | | | |
| 課題名 | 看護教育および勤務形態に関する横断研究 | | | | |
| 申請者 | 和足 孝之（卒後臨床研修センター 助教） | | | | |
| 審査内容 | <p>この研究は、看護師の3つの異なる実態調査を1つの研究としたのはなぜかとの質問があり、一度のアンケート調査で3つまとめて行った方が効率的にデータを集めやすいというメリットがあるためとの回答だった。</p> <p>抽選で差異のあるポイントを付与することについて医学上いかなるものかとの質問があり、Web アンケート代行企業では回収率を上げるために従来からこの方法でアンケート調査を行っているとの回答だった。専門家の委員からは日本人の倫理観としてどうかということはあるが、法律上は問題ないのでデータ収集のためにはこれもやり方のひとつではないかとの意見であった。</p> <p>アンケートの質問内容について、専門看護師資格の有無に加えて圧倒的に人数が多い認定看護師資格についても質問内容に入れるべきとの意見があった。研究計画書の 9.2.研究期間が審査後保留となったままの期間が記載されているので研究承認後の期間に変更するべきとの指摘があった。</p> | | | | |
| 審査結果 | <p>全会一致で次の結果となった。</p> <p>保留とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の設問内容において、「専門看護師」の資格より「認定看護師」の資格を有する看護師が多いことから、看護資格の有無の設問に「認定看護師」を入れることを検討すること。 審査結果が保留となったため、研究計画書の 8.1.データの収集について、記載内容を再度検討すること。 | | | | |

| | | | | | |
|------|-------------------|----|-------|------|---|
| 管理番号 | 20180920-6 | 種別 | 医学系研究 | 資料番号 | 3 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | | | |
| 課題名 | 眼内レンズ度数計算式についての研究 | | | | |

| | |
|------|---|
| 申請者 | 吉廻 浩子 (眼科 医科医員) |
| 審査内容 | <p>この研究は、白内障手術の際に挿入する眼内レンズの度数ズレによって、手術後の裸眼視力へ影響することから、最適な眼内レンズの度数を検討するために光学式眼軸長測定装置の中に入っている新しい5つの計算式を用いて従来の眼内レンズ度数計算式と比較する研究であるとの説明があった。委員から 9.1.症例数のところで5つの計算式を比較するのになぜ3群となっているのかとの質問があり、前房深度の深い群、通常の群、浅い群の3群でそれぞれ5つの計算式を比較するとの回答だった。3群で行うと結論が3つ出てくることになり、計算式ごとにそれぞれ違った結果が出てくる場合はどのようにするのかとの質問があり、比較結果に基づいて臨床で応用することになるとの回答があった。5つの計算式の比較検討に多群間比較を用いることを研究計画書に記載すべきとの指摘があった。9.1.症例数の計算方法について再度検討する必要があるとの指摘があった。</p> |
| 審査結果 | <p>全会一致で次の結果となった。</p> <p>保留とする。</p> <p>本研究の研究計画書について、以下のとおり対応すること。</p> <p>①本研究では、5つの計算式を使って群間比較することを追記すること。</p> <p>②9.1.症例数について、症例数の計算式を再度確認すること。</p> <p>③9.2.研究期間について、調査対象期間の記載を削除すること。</p> |

| | | | | | |
|------|--|----|-------|------|---|
| 管理番号 | 20181030-1 | 種別 | 医学系研究 | 資料番号 | 4 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | | | |
| 課題名 | 開頭手術に伴う骨欠損部に対して、コラーゲン使用人工骨を用いた頭蓋形成術の評価 | | | | |
| 申請者 | 吉金 努 (脳神経外科学 助教) | | | | |
| 審査内容 | <p>1人の患者さんに対して2つの方法で補填するのかとの質問があり、人工骨は保険診療で最大使用量が決まっているためすべての欠損部に補填することができない。そのため1人の患者さんに対して人工骨と自家骨粉の両方を使用して補填し2群で比較するとの回答だった。他の医療機関でも人工骨を使用している症例があるのかとの質問があり、整形外科領域では使用例があるが、脳外科領域では学会で数例報告されているのみでありあまり使用されていないとの回答だった。</p> <p>9.1.2.図の中の自家骨粉の文字が薄いので見えるように修正すべきとの指摘があった。</p> | | | | |
| 審査結果 | <p>全会一致で次の結果となった。</p> <p>保留とする。</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| | 説明文書の4.この研究の方法において、人工骨と自家骨粉を分離し、一塊として補填する状況を図式した部分の文字が薄いので、分かりやすくすること。 |
|--|--|

2. 書面による審査（1件）

| | | | | | |
|------|--|----|-------|------|---|
| 管理番号 | 20160128-3 | 種別 | 医学系研究 | 資料番号 | 5 |
| 審査事項 | SAE | | | | |
| 課題名 | 再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎患者に対する維持療法時におけるボノプラザン長期投与時の安全性に関する検討 | | | | |
| 申請者 | 石村 典久（消化器内科 講師） | | | | |
| 審査内容 | 質問・意見は特になし | | | | |
| 審査結果 | 全会一致で次の結果となった。 承認とする。 | | | | |

議題2 迅速審査の結果の報告

委員長から、平成30年11月14日（水）に開催した医の倫理委員会（迅速審査）の審査結果について、申請件数27件のうち、承認が26件、保留が1件であった旨の報告があった。

なお、詳細は以下のとおりである。

1. 研究の実施に係る申請であり、本学のみで実施するもの、または本学が主たる研究機関となる案件（4件）

| | | | |
|---------|--------------------------------|------|---|
| 管理番号 | 20181018-1 | 資料番号 | 6 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | |
| 課題名 | 当科における傷痕を残さない単孔式腹腔鏡補助下虫垂切除術の工夫 | | |
| 申請者 | 浮田 明見（小児外科 医科医員） | | |
| 迅速審査の理由 | 侵襲・介入なし | | |
| 審査結果 | 承認 | | |

| | | | |
|---------|----------------------------------|------|---|
| 管理番号 | 20180927-1 | 資料番号 | 7 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | |
| 課題名 | 半導体 SPECT 装置を用いた心筋血流 SPECT 画像の評価 | | |
| 申請者 | 矢田 伸広（放射線部 主任診療放射線技師） | | |
| 迅速審査の理由 | 侵襲・介入なし | | |
| 審査結果 | 保留 | | |

| | | | |
|------|--------------------------------|------|---|
| 管理番号 | 20181018-3 | 資料番号 | 8 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | |
| 課題名 | LDL 吸着を施行したコレステロール結晶塞栓症の11例の検討 | | |
| 申請者 | 伊藤 孝史（腎臓内科 講師） | | |

| | |
|---------|---------|
| 迅速審査の理由 | 侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | | | |
|---------|--------------------|------|---|
| 管理番号 | 20181025-1 | 資料番号 | 9 |
| 審査事項 | 研究の実施 | | |
| 課題名 | アパシーにおける神経ネットワーク変化 | | |
| 申請者 | 山口 修平 (内科学第三 教授) | | |
| 迅速審査の理由 | 浸襲・介入なし | | |
| 審査結果 | 承認 | | |

2. 「1.」以外の案件 (23 件)

| | |
|---------|---|
| 管理番号 | 20180918-2 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 次世代シーケンシングによる再発・難治性後天性赤芽球癆の診断と治療に関する研究 (PRCA-NGS2017) |
| 申請者 | 三宅 隆明 (腫瘍・血液内科 講師) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 管理番号 | 20180919-3 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 在胎33週未満早期産児を対象とした尿中ビオチン濃度に関する前向き探索的研究 |
| 申請者 | 小林 弘典 (小児科 助教) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--|
| 管理番号 | 20180927-2 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 第2回 Stevens-Johnson 症候群ならびに中毒性表皮壊死症の全国疫学調査 |
| 申請者 | 森田 栄伸 (皮膚科学 教授) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|------|----------------------------------|
| 管理番号 | 20181009-1 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 急性期虚血性脳卒中の再開通療法における施設間医療連携に関する調査 |

| | |
|---------|--|
| | 研究 (Part1, Drip & Ship 法に関する調査研究) (Part2, MT に関する調査研究) |
| 申請者 | 萩原 伸哉 (脳神経外科学 助教) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|-------------------------------|
| 管理番号 | 20181009-2 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 直腸癌側方リンパ節転移の術前診断能の妥当性に関する観察研究 |
| 申請者 | 百留 亮治 (消化器・総合外科学 助教) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--|
| 管理番号 | 20181018-4 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究 |
| 申請者 | 津端 由佳里 (呼吸器・化学療法内科 講師) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|---|
| 管理番号 | 20181017-3 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 上部尿路上皮癌における最適な治療アルゴリズム構築を目的としたリスク因子に関する研究 |
| 申請者 | 椎名 浩昭 (泌尿器科学 教授) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--|
| 管理番号 | 20181019-1 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 転移性前立腺癌における泌尿器関連合併症の頻度と局所放射線照射の効果に関する後向き研究 |
| 申請者 | 椎名 浩昭 (泌尿器科学 教授) |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--|
| 管理番号 | 20181018-5 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 我が国の若年全身性エリテマトーデス患者の現状と妊娠転帰を含む長期・短期予後に関する前向きコホート研究 |
| 申請者 | 森山 繭子（膠原病内科 助教） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--------------------------|
| 管理番号 | 20170131-1 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク |
| 申請者 | 安本 博晃（泌尿器科学 准教授） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--------------------------|
| 管理番号 | 20181019-2 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 本邦における原発性骨髄線維症の臨床像に関する研究 |
| 申請者 | 高橋 勉（内科学第三 助教） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|-----------------------------|
| 管理番号 | 20181019-3 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | 肝炎ウイルス陽性者の follow up 率と予後調査 |
| 申請者 | 佐藤 秀一（肝臓内科 診療科長） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 管理番号 | 20181019-4 |
| 審査事項 | 研究の実施 |
| 課題名 | AI（人工知能）による内視鏡画像自動診断（病変拾いあげ）システムの実証実験 |
| 申請者 | 沖本 英子（消化器内科 助教） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|-------------------------|
| 管理番号 | 20171113-2 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | スボレキサントによるせん妄予防効果に関する検討 |
| 申請者 | 宮岡 剛（精神医学 准教授） |
| 迅速審査の理由 | 侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|-------------------------|
| 管理番号 | 20141016-1 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | 薬疹の遺伝子多型および発症因子の解析 |
| 申請者 | 森田 栄伸（皮膚科学 教授） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|---|
| 管理番号 | 20131018-1 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | RET 融合遺伝子等の低頻度の遺伝子変化陽性肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究 |
| 申請者 | 中尾 美香（呼吸器・化学療法内科 医科医員） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|---|
| 管理番号 | 20180111-1 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | Cell free DNA を用いた次世代シーケンサーによる multiplex 遺伝子解析の有効性に関する前向き観察研究 |
| 申請者 | 中尾 美香（呼吸器・化学療法内科 医科医員） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--|
| 管理番号 | 20151019-2 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | PI3K/AKT/mTOR 経路の遺伝子変異を含む稀な遺伝子異常を有する小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究 |
| 申請者 | 中尾 美香（呼吸器・化学療法内科 医科医員） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み、軽微な侵襲・介入なし |

| | |
|------|----|
| 審査結果 | 承認 |
|------|----|

| | |
|---------|--------------------------|
| 管理番号 | 20170830-4 |
| 審査事項 | 研究実施状況報告、研究計画等の変更 |
| 課題名 | カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト |
| 申請者 | 渡邊 伸英（循環器内科 助教） |
| 迅速審査の理由 | 主たる研究機関で承認済み |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|------------------|
| 管理番号 | 20160531-1 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | 算数課題と意思決定 |
| 申請者 | 小野田 慶一（脳神経内科 講師） |
| 迅速審査の理由 | 侵襲・介入なし |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|----------------------|
| 管理番号 | 20180914-2 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | 高安動脈炎女性患者と妊娠・出産の実態調査 |
| 申請者 | 村川 洋子（内科学第三 准教授） |
| 迅速審査の理由 | 軽微な変更 |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|---|
| 管理番号 | 20170331-1 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | 小児患者でのエアウェイスコープを用いた気管挿管時のパーカー挿管チューブとマリクロット挿管チューブの比較 |
| 申請者 | 二階 哲朗（集中治療部 准教授） |
| 迅速審査の理由 | 軽微な変更 |
| 審査結果 | 承認 |

| | |
|---------|--|
| 管理番号 | 20121228-4 |
| 審査事項 | 研究計画等の変更 |
| 課題名 | 炎症性腸疾患患者の便中カルプロテクチン測定の臨床的意義に関する多施設共同研究 |
| 申請者 | 川島 耕作（消化器内科 講師） |
| 迅速審査の理由 | 軽微な変更、軽微な侵襲・介入なし |

| | |
|------|----|
| 審査結果 | 承認 |
|------|----|

議題3 研究終了報告 (25件)

資料番号 30

委員長から、資料のとおり研究責任者より 25 件の研究報告書が提出された旨の報告があった。

| 管理番号 | 課題名 | 研究責任者 |
|------------|--|---------------------------------|
| 20110730-1 | 慢性腎臓病患者における血圧日内変動と腎予後、および心血管障害の関連性 | 伊藤 孝史 (腎臓内科 講師) |
| 20120926-1 | ネフローゼ症候群を呈する高齢者の一次性膜性腎症に対するミゾリビンの有効性と安全性の検討 (多施設共同研究) | 伊藤 孝史 (腎臓内科 講師) |
| 20150914-1 | 胆管空腸吻合部狭窄症に対する磁石圧迫吻合術 | 林 彦多 (肝・胆・膵外科 助教) |
| 20160430-4 | 膵胆管合流異常症患者の切除標本における粘膜発癌関連遺伝子異常と至適切除範囲に関する検討 | 林 彦多 (肝・胆・膵外科 助教) |
| 20120327-2 | 細胞外基質の生化学的分析による足関節周囲靭帯および腱損傷の病態解明 | 内尾 祐司 (整形外科学 教授) |
| 20120626-3 | NSAID s 継続投与患者におけるエソメプラゾールとランソプラゾールによる上腹部症状の改善効果についてのオープンラベル並行群間比較試験 | 内尾 祐司 (整形外科学 教授) |
| 20070904-1 | 膝蓋骨動揺性の評価に関する研究 | 内尾 祐司 (整形外科学 教授) |
| 20080107-1 | イホマイド脳症に対するメチレンブルー療法 | 内尾 祐司 (整形外科学 教授) |
| 20080229-3 | 変形性膝関節症 (OA) に対する機能的膝装具の治療効果に関する研究 (遺伝子解析を含む) | 内尾 祐司 (整形外科学 教授) |
| 20090130-7 | 膝靭帯損傷および再建術における膝関節固有感覚の研究 | 内尾 祐司 (整形外科学 教授) |
| 20090227-7 | 靭帯再建膝に対する生体力学的研究 | 内尾 祐司 (整形外科学 教授) |
| 20101110-1 | Stage II/Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法の認容性に関する検討 | 田中 恒夫 (田島 義証) (消化器・総合外科学 教授) |
| 20160430-3 | 高齢者における慢性ストレス指標としての爪試料中コルチゾールの有効性 | 神田 秀幸 (環境保健医学 教授) |
| 20151015-2 | ストレスチェックの義務化に伴う森林の持つ | 橋本 道男 |

| | | |
|------------|--|----------------------------------|
| | 癒し効果の検証 | (環境生理学 特任教授) |
| 20121218-1 | 高齢者における白内障手術前後での睡眠状態の変化に関する研究 | 原 克典 (眼科 助教) |
| 20170914-1 | 高齢重症大動脈弁狭窄症患者における B type Natriuretic Peptide での予後予測 | 岡田 大司 (循環器内科 助教) |
| 20101216-1 | ヒト乳癌組織における human papillomavirus 感染との関連性に関する研究 | 荒木 亜寿香 (器官病理学 助教) |
| 20100831-7 | 肺ラジオ波焼灼術の有効性ならびに安全性に関する臨床的研究 | 中村 恩 (放射線科 助教) |
| 20060525-1 | 進行肝細胞癌に対する微粉末化シスプラチン(動注用アイエーコール R)ーリピオドール懸濁液による肝動脈化学塞栓療法 | 岡田 成人 (放射線科 助手) |
| 20091224-1 | 高齢者骨髄性悪性腫瘍に対する移植前処置 Fludarabine 150mg/m ² +ivBusulfan 0.8mg/kg×16 の臨床有用性の検討 | 高橋 勉 (内科学第三 助教) |
| 20100730-3 | 十二指腸酸環境とディスペプシア症状の関連性に関する検討ー健常者と functional dyspepsia(FD)例の比較検討 | 足立 経一 (臨床看護学 教授) |
| 20090424-1 | 治癒切除結腸癌 (Stage III) を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究 | 山本 徹 (消化器・総合外科 助教) |
| 20120925-2 | KRAS 野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法 mFOLFOX6 と 周術期化学療法 mFOLFOX6+セツキシマブの第 III 相ランダム化比較試験 | 山本 徹 (消化器・総合外科学 助教) |
| 20031212-1 | 妊婦血清メタスチン (Metastin) の癌転移抑制効果 | 立花 光夫 (平原 典幸) (消化器・総合外科学 准教授) |
| 20031215-1 | 食道癌転移リンパ節サイズの臨床病理学的検討 国立がんセンター病理部、外科との共同研究 | 立花 光夫 (平原 典幸) (消化器・総合外科学 准教授) |

議題4 検討事項

西暦 2019 年度 医学部医の倫理委員会の開催日程 (案) について

資料 40

事務局から 2019 年度医学部医の倫理委員会の開催日程 (案) について、例年以下の事項を鑑み (案) を作成しているとの説明があった。

- ・ 医の倫理委員会業務手順書 (予備・本審査開催日について)

- ・年間の祝祭日
- ・教授会、病院運営委員会開催予定日

来年度は、4月から5月にかけて、天皇陛下の退位、即位に伴う行事により10連休となることから、準備等に支障が出るため5月は休会としたい旨の説明があり、検討の結果、全会一致で原案通り承認された。

なお、来年度の教授会については現在未確定なので、1月の日程確定後あらためて開催日程を報告することとした。

次回（本審査）の開催予定：平成30年12月25日（火）15時～